児童に見られるつまずき

　わり算の意味を理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　問題場面を半具体物や図を用いて表したり、立式の理由を図や言葉の式を用いて説明し合ったりする活動を通して､わり算の意味や等分除、包含除の違いについて理解を深めさせる

指導事例集ｐ．３７

１　学年・単元名　　第３学年　　わり算（数と計算領域）

２　単元目標

　・同じ数ずつ分ける計算のよさに気づき、わり算を用いて、日常生活上の問題の処理に役立てよう

　　とする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（関心・意欲・態度）

・わり算の意味を説明することができる。　　　　　　　　　　　　　　　 　（数学的な考え方）

・わり算の問題を立式したり、九九を用いて答えを求めたりすることができる。　 　　　（技能）

・等分除・包含除の意味を知り、除法の適用場面を理解できる。　　　　　 　　　（知識・理解）

３　単元の内容

　・**等分除の意味の理解と除法の式の表し方**

　・**包含除の意味の理解と除法の式の表し方**

　・何倍になるかを求めるわり算

参考：ノート４使用

参考：ノート５

　・わり算を使った問題

　・答えが九九にないわり算の計算の仕方

参考：ノート６・７

４　本時の目標①

数図ブロックを等分する操作を通して等分除の意味を理解し、除法の式に表すことが分かる。

５　本時の展開①

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| つ  か  む | １　問題場面を把握し、課題をつかむ。  １２このクッキーを３人に分けると、１人分は何こになるでしょう。  ○本時の課題を知る。 | ・１２個のクッキーとそれを３個・４個・５個に分けた絵を提示し、気付いたことを話し合わせる。  ・クッキーが同じ数ずつ分けられていないことに気付かせる。  ワークシート１使用  同じ数ずつ分ける計算について調べよう |
| 考える | ２　自分で問題を解く。  ○数図ブロックを１２個使って、３人に等分すると１人分が何個になるか調べる。 | **・皿の絵に、数図ブロックを置いて分けるように指示する。**  **・どのように数図ブロックを操作したのかを言葉や絵、図で表させる。** |
| 話  し  合  う | ３　自分の考えを説明する。  ○全体で話し合う。  「３つの皿に１個ずつ置いていった」  「九九で３個と見当を付けて置いた」  １５このクッキーを３人に分けると、１人分は何こになるでしょう。  ○数図ブロックを使って考える。  ○数図ブロックで確認し、わり算の式、  ことばの式にまとめる。 | **・どのよう置いていったのかを数図ブロックを操作しながら発表させる。**  ・１個ずつ分ける方法、見当を付けて分ける方法のどちらも認める。  ・1問目と同じように、皿の絵に数図ブロックを置いて求めさせる。  ワークシート１使用  ・**等分する操作を言葉と結びつけながらわり算の式をかく。**  ・「÷」の書き順を明確にする。  ・わり算のよみ方を知らせる。  ・ことばの式に表すことができることを確認する。  参考：ノート１ |
| 確かめる | ４　学習のふり返りをする。 | ・感想の言葉をひろいながら、わり算の意味を再確認する。 |

６　本時の目標②

わり算についての問題作りを通して、わり算の理解を深める。

７　本時の展開②

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| つ  か  む | １　問題場面を把握し、課題をつかむ。  　だいちさんとひなたさんは、12÷３になる問題を作りました。　　にことばをつけたして、問題をかんせいさせましょう。  だいちさん  おかしが１２こあります。  ３人に同じ数ずつ分けます。  １人分は  ひなたさん  おかしが１２こあります。  １人に３こずつ分けます。  何人に  ○本時の課題を知る。  わり算の問題を作っておたがいにとき合おう | ・それぞれの問題の１文目、２文目から、どのような状況なのかを考えさせた後、　　　に当てはまる言葉を考えさせるようにする。 |
| 考える | ２　自分で問題を解く。  ○ワークシートの　　 にあてはまる言葉を考え発表する。  ○同じ１２÷３でも問題が違うことからどこが違うのかを考える。  ワークシート２使用 | ・　　にあてはまる言葉は題意に外れていな限りは、どんな表現でも認める。  **・だいちさんの問題、ひなたさんの問題を図に表し、同じところ違うところを考えさせる。** |
| 話  し  合  う | ３　自分の考えを説明する。  ○全体で話し合う。  参考：記入済みワークシート２ | **・自分が考えた図を提示し、２人の問題の違いを説明させる。**  **・わり算には、１人分を求めるものと何人に分けられるかを求めるものがあることをおさえる。** |
| 確 か め る | ４　わり算の問題を作り、班でお互いが作った問題を解き合う。  ○「１人分を求める問題」「何人で分けることができるかを求める問題」の両方を作る。  ○作った問題をお互いに解き、２つに  分類する。  ○学習の振り返りをする。  参考：ノート２　ノート３ | ・まずわり算の式をかき、それから問題を作らせる。  ・自由に作ることができにくい児童には、　　に言葉を入れればよいカードを渡して作らせる。  ・**問題を解くだけでなく、「１人分を求める問題」なのか、「何人で分けることができるかを求める問題」に分けさせる**。 |